

エリグズ(18年4月)は前期比10%増収で営業利益も伸ばしたが、下半期に入ってブナ繊維「Qnac」の期に入ってきたが、カーボンペーストが導いていと言

チーズで総染め並み

バルキー性向上の新技術

オザワ織工

の技術を生かして異業種向けの開発に取り組む。伸縮性や自着性を持つ不織布を使用した配管用テープで、谷口商会(岡山市)が販売する「アシッドテープ」(アシッドテープ)もその一つ。配管漏れを見える化するもので、アシッドテープは酸に、アシッドテープはアルカリ性に反応し、色が変わる。

カーボンナノチューブ

チース染色に加え、原料染め、総(かせ)染めも一部行う森保染色(愛知県一宮市)は繁閑差の是正に取り組む。尾州産地を拠点とするだけに秋冬型偏重だった

豊島紡績の子会社に

栄光染色

示す。生産面ではチース染色前の巻き取りを行うワインダーも内製化を図っており、1200錠体制を構築した。同社は平成29年度省エネ大賞の省エネ事例部門で経済産業大臣賞を受賞。省エネ企業としても知られる。

豊島紡績(名古屋市中区)は昨年、トップ染め、バラ(わた)染め、チー特に学生服をはじめユニフォーム用のポリエステルウルル混に定評がある。11月1日付で子会

栄光染色は1959年創業で、バラ染めやわた晒しを主力としており、先月の減少など懸念材料もある。十分な話し込みによる納入スケジュールの設定や調整に取り組む、取引先に影響を与えない、最適な体制を整える。

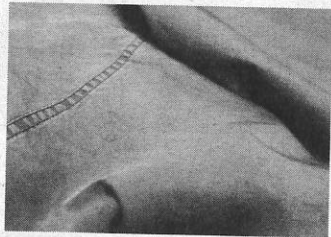
加工技術は薬剤や素材の情報収集力を充実させ要望に応える。一方、従業員の高齢化に伴う稼働時間の制限や近隣の外注先の減少など懸念材料もある。十分な話し込みによる納入スケジュールの設定や調整に取り組む、取引先に影響を与えない、最適な体制を整える。

あらゆる要望の受け皿へ

MU初出展で海外も視野

山陽染工

山陽染工(広島県福山市)は、グループの中国紡織(同)や山陽染工児島フアクトリー(岡山県倉敷市)を通じて3者連携による生産や、他社と「クロス・サンヨー」にクサフアー機を導入、開始する。生産面での効率化、品質向上に加え、



「染工場の数が減り、得意なものだけを生産するだけではいけなくなってきた。あらゆる要望に対応して受け皿になる」。2月初旬、初めての海外展となる「ミラノウニ

後援 法人省エネルギーセンター



賞を受賞(右が小澤) 賞を受賞(中が小澤) 賞を受賞(左が小澤)

各種コスト上昇で採算的にも厳しさを増す。このため以前に開発した、バルキー性を持つチース染色技術をさらに改良。従来に比べバルキー性を30〜60%高めた技術を確認した。「風合いに違いはあるが、総染め同等のバルキー性は可能(小澤俊夫社長)と手応えを

必要がある」とする。その技術力を訴求し、取り組み先の開拓するため、2月20〜22日、愛知県一宮市で開催される「第16回ジャパン・ヤーソン・フェア」に2年連続(町)は既存の取引先との

期などテリバーリー面での要望に即応できる体制作りを進める。同社は綿など天然系繊維全般の加工に強く、衣料、産業資材を問わず幅広く対応、関西圏だけでなく、北陸や四国からも受注する。